佐賀市立金立小学校　学校便り　第 11 号

きんりゅう

学校教育目標　「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和 8 年 11 月 10 日発行
文責　校長　泊　裕人

全員が自分らしく輝く

学校 HP もご覧ください

先日行われました運動会におきましては、保護者の皆さん、地域の方の温かなご声援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

雨による順延となり、当日も決して良好なグランド状態とは言えない中でのスタートとなりました。しかし、早朝より PTA 役員の方をはじめ、多くの保護者や地域の方々がグランド整備やテント設営にご協力くださったおかげで、無事に子どもたちが全力を出せる環境を整えることができました。我々教職員も何とかいい状態で…と思っていたところでのサポートに、本当にありがたく思いました。心より感謝申し上げます。

今年度の運動会は、まさに**「子どもたちが主役」**となり、さまざまな場面で一人ひとりが輝く姿が見られました。全体を引っ張ったのは、応援団長をはじめとするリーダーの子どもたちです。声を張り上げ、全力で取り組む彼らの熱意と、それを全力で支え、応える全校児童の姿からは、学校全体がひとつになる強い絆を感じました。競技に全力で挑むことはもちろんのこと、自分の出番を終えた後も友達に精いっぱいの声援を送る姿、自分の役割（係の仕事）に責任を持って取り組む姿、応援席でのきびきびとした態度など、一人ひとりが自分の場所で誇らしく輝いていました。














また、今年度は保護者や地域の皆さまにご参加いただいくふれあい競技『**じゃんけんトライアル**』も実施いたしました。一緒に競技し、その中で子どもたちと握手を交わしていただいた際、子どもたちが見せた笑顔と嬉しそうな表情がとても印象的でした。自分たちの頑張りを、温かい眼差しで見守り、ともに楽しんでくださる大人の存在が、子どもたちにとって何よりの励みになったようです。

悪条件を吹き飛ばすような子どもたちの熱気と、それを支えてくださった家庭・地域の絆を再確認できた、素晴らしい一日となりました。この運動会を通して得た自信や「みんなで協力する達成感」を、今後の学校生活や次のステップへとしっかりつないでいきたいと思います。




【少年の主張大会について】

先日行われました「少年の主張大会」において、本校から４名の子どもたちが参加しました。

４人はこれまでの自分の経験をもとに、今感じている思いを豊かな表現で堂々と発表することができました。大勢の人の前に立ち、自分の考えを主張する大舞台に挑んだこと自体が、実に素晴らしい挑戦です。本番に至るまで、作文の作成はもちろん、貴重な昼休みを返上して練習に励んだ努力の成果が存分に発揮されていました。




４人の主張には、共通する大きなメッセージがありました。それは「好きなことや自分にできることを『**継続すること**』の大切さ」、そして「自分を支えてくれる周囲への『**感謝の心**』」です。自分の実体験から導き出された言葉には力があり、聴く人の心を強く揺さぶるものでした。

代表となった４人には、この貴重な経験を大きな糧とし、次なる目標に向かってたゆまぬ努力を続けてほしいと願っています。そして、他の子どもたちも、身近にあるチャンスを見逃さず、さまざまなことに恐れず挑戦していってほしいと思います。

